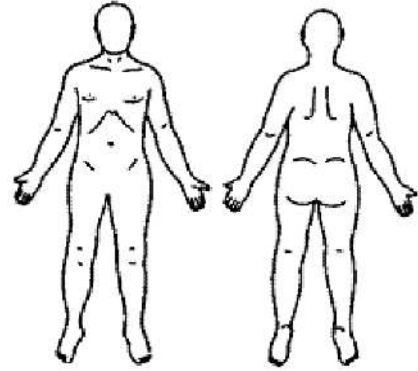


肢体不自由の状況及び所見

神経学的所見その他の機能障害(形態異常)の所見(該当するものを○でかこみ、下記空欄に追加所見記入)

- 感覚障害(下記図示) : なし・感覚脱失・感覚鈍麻・異常感覚
- 運動障害(下記図示) : なし・弛緩性麻痺・痙攣性麻痺・固縮・不随意運動・しんせん・運動失調・その他
- 起因部位 : 脳・脊髄・末梢神経・筋肉・骨関節・その他
- 排尿・排便機能障害 : なし・あり
- 形態異常 : なし・あり

参考図示



- × 変形
- 切離断
- ▨ 感覚障害
- ▨ 運動障害
- ▼ 人工関節・人工骨頭

切・離断の場合(部位を囲み、実測値を記入)

切 断	〔上腕・前腕〕 〔大腿・下腿〕	断端長(実用長)	cm
健 側	〔上腕・前腕〕 〔大腿・下腿〕	長(実用長)	cm
離 断	関 節 名		

(注)切断の場合、健側も必ず記入してください。

(注)計測法:

- 上肢長: 肩峰 → 橈骨茎状突起
- 上腕周径: 最大周径
- 大腿周径: 膝蓋骨上縁上10cmの周径(小児等の場合は別記)
- 上腕長: 腋窩 → 上腕骨内側上顆
- 大腿長: 坐骨結節 → 膝裂隙



(注) 指の欠損の場合は、DIP関節、PIP関節及びIP関節の残存の有無を明記すること

	右	左
上肢長cm		
下肢長cm		
上腕周径cm		
前腕周径cm		
大腿周径cm		
下腿周径cm		
握力Kg		

6. 動作活動 自立-○ 半介助-△ 全介助又は不能-×、()の中のものを使う時にはそれに○

寝がえりする			シャツを着て脱ぐ	
あしをなげ出して座る			ズボンをはいて脱ぐ(自助具)	
椅子に腰かける			ブラシで歯をみがく(自助具)	右 左
立つ(手すり・壁・杖・松葉杖・義肢・装具)			両手で顔を洗いタオルで拭く	
家の中の移動(壁・杖・松葉杖・義肢・装具・車椅子)			両手でタオルを絞る	
洋式便器にすわる			両手で背中を洗う	
排泄のあと始末をする			二階まで階段を上って下り(手すり・杖・松葉杖・義肢・装具)	
(箸で)食事をする(スプーン、自助具)	右	左	屋外を移動する(家の周辺程度)(杖・松葉杖・義肢・装具・車椅子)	
コップで水を飲む	右	左	公共の乗り物を利用する	

注: 身体障害者福祉法の等級は機能障害(impairment)のレベルで認定されますので()の中に○がついている場合、原則として自立していないという解釈になります。

歩行能力	①正常 ②2Km以上困難 ③1Km以上困難 ④ _____m位歩ける ⑤歩行不能
起立位	①正常 ②1時間以上困難 ③30分以上困難 ④ _____分位保持 ⑤保持不能(右・左)
坐位	①正座: 可・不可 ②あぐら: 可・不可 ③横座り: 可・不可

注: 運動能力を義肢・装具・つえ等を使用しない状態で評価する。

関節可動域(ROM)と筋力テスト(MMT) (この表は必要な部分を記入)

(注) 記入がない部分は、「正常」とみなされます。

筋力テスト	関節可動域	筋力テスト	関節可動域	筋力テスト			
↓	↓	↓	↓	↓			
() 前屈	180 150 120 90 60 30 0 30 60 90	後屈 ()	頸 体 幹	() 左屈	90 60 30 0 30 60 90 120 150 180	右屈 ()	
() 前屈		後屈 ()		() 左屈		右屈 ()	
右				左			
() 屈曲	180 150 120 90 60 30 0 30 60 90	伸展 ()	肩	() 伸展	90 60 30 0 30 60 90 120 150 180	屈曲 ()	
() 外転		内転 ()		() 内転		外転 ()	
() 外旋		内旋 ()		() 内旋		外旋 ()	
() 屈曲		伸展 ()		肘	() 伸展		屈曲 ()
() 回外		回内 ()			() 回内		回外 ()
() 掌屈		背屈 ()	手	() 背屈		掌屈 ()	
() 屈曲		伸展 ()	中手指節 (MP)	() 伸展		屈曲 ()	
() 屈曲		伸展 ()		() 伸展		屈曲 ()	
() 屈曲		伸展 ()		() 伸展		屈曲 ()	
() 屈曲		伸展 ()		() 伸展		屈曲 ()	
() 屈曲		伸展 ()		() 伸展		屈曲 ()	
() 屈曲		伸展 ()	近位指節 (PIP)	() 伸展		屈曲 ()	
() 屈曲		伸展 ()		() 伸展		屈曲 ()	
() 屈曲		伸展 ()		() 伸展		屈曲 ()	
() 屈曲		伸展 ()		() 伸展		屈曲 ()	
() 屈曲		伸展 ()		() 伸展		屈曲 ()	
() 屈曲		伸展 ()	股	() 伸展	90 60 30 0 30 60 90 120 150 180	屈曲 ()	
() 外転		内転 ()		() 内転		外転 ()	
() 外旋		内旋 ()		() 内旋		外旋 ()	
() 屈曲		伸展 ()		膝	() 伸展		屈曲 ()
() 底屈		背屈 ()			() 背屈		底屈 ()

備考

- 関節可動域は、他動的可動域を原則とする。
- 関節可動域は、基本肢位を0度とする日本整形外科学会・日本リハビリテーション医学会の指定する表示法とする。
- 関節可動域の図示は、例示のように両端に太線をひき、その間を矢印で結ぶ。強直の場合は、強直肢位に波線(〃)を引く。
- 筋力については、表()内に×△○印を記入する。
×印は、筋力が消失または著減(筋力0,1,2該当)
△印は、筋力半減(筋力3該当)

○印は、筋力やや減または正常(筋力4,5該当)

例示 (×) 伸展 屈曲 (△)

- PIPの項の母指はIP関節を示す。
- DIPその他手指の対立内外転等の表示は必要に応じ備考欄を用いる。
- 図中ぬりつぶした部分は、参考的正常範囲外の部分で、反張膝等の過可動域はこの部分にはみ出し記入となる。